

「アイシングループビジョン2030」

優先課題(マテリアリティ)とKPI・2030年度目標

GRI 102-47, 103-2

取締役会から承認を得た優先課題(マテリアリティ)に対し、KPI(Key Performance Indicator:重要業績評価指標)と2030年度目標を設定し、具体的な活動計画へ落とし込むとともに取り組みを推進、改善していきます。

	優先課題(マテリアリティ)	2030年度めざす姿
事業活動を通じた社会課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止</li> <li>交通事故低減</li> <li>安全な移動・輸送手段の提供</li> </ul>  	<p><b>モビリティ事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー使用量の削減やグリーンエネルギーの活用、さらに安全・快適な移動手段の提供を通じ、より地球や人に優しいモビリティ社会づくりに貢献</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンエネルギー転換の推進</li> <li>健康と福祉の推進</li> </ul>  	<p><b>エネルギー関連事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンで高効率なエネルギー関連商品の普及や快適な住生活空間の提供を通じ、より良い暮らしと環境に配慮した街づくりに貢献</li> </ul>
活動を支える経営基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術革新による持続可能な産業化の促進</li> <li>CO<sub>2</sub>排出削減</li> <li>汚染防止</li> <li>環境負荷物質削減</li> <li>資源循環</li> <li>資源効率の改善</li> </ul>  	<p><b>全事業共通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未来に目を向けた研究開発による新たな価値の提供を通じ、豊かで持続可能な社会づくりに貢献</li> <li>地球環境への負荷「ゼロ」をめざした取り組みの推進により、循環型社会への移行に貢献</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働安全衛生</li> <li>健康</li> <li>人権</li> <li>多様性の促進</li> <li>働きがい改革</li> <li>ワークライフバランス</li> <li>コンプライアンス</li> <li>持続可能な調達</li> </ul>  	<p><b>全グループ共通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン全体を視野に入れ、多様な人材が生き生きと安心して働ける職場環境の確保をめざした取り組みの推進</li> </ul>
		<p>2050年GHG排出実質ゼロに向けた商品の拡充</p> <p><input type="checkbox"/> P.39 カーボンニュートラル</p> <p>交通事故死傷者ゼロ社会の実現に向けた安全商品の拡充</p> <p><input type="checkbox"/> P.46 走行安全カンパニー</p> <p>脱炭素・循環型社会に向けたエネルギー関連開発の推進</p> <p><input type="checkbox"/> P.54 エナジーソリューションカンパニー</p> <p>より便利で安心な社会の実現に向けた商品・サービスの創出</p> <p><input type="checkbox"/> P.50 CSSカンパニー</p> <p>持続可能な社会づくりの促進に向けた研究開発・提携の拡大</p> <p><input type="checkbox"/> P.30 ソリューション型商品へのシフトに向けた研究開発費、設備投資の方向性</p> <p>低炭素社会に向けた商品製造から使用、廃棄までのCO<sub>2</sub>削減</p> <p><input type="checkbox"/> P.39 カーボンニュートラル</p> <p><input type="checkbox"/> P.87 環境</p> <p>徹底的な再発防止による重大災害・休業災害の撲滅</p> <p><input type="checkbox"/> P.111 労働安全衛生マネジメントシステム</p> <p>多様な従業員一人ひとりにとってより働きやすく、働きがいのある職場環境の実現</p> <p><input type="checkbox"/> P.102 働きがい改革</p> <p><input type="checkbox"/> P.105 ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</p> <p>グローバルでのグループ法務・コンプライアンス体制の整備による高いコンプライアンス意識の維持と重大法令違反の撲滅</p> <p><input type="checkbox"/> P.83 コンプライアンス</p> <p>良きビジネスパートナーとしての共存・共栄と相互発展</p> <p><input type="checkbox"/> P.128 調達</p>

## 「アイシングループビジョン2030」

## ■ 計算方法

$$\text{電動化商品売上比率} = \frac{\text{電動化商品売上}}{\text{関連領域総売上(パワートレイン、走行安全)}}$$

$$\text{ADAS}^{*1} + \text{自動運転商品売上比率} = \frac{\text{ADAS+自動運転商品売上}}{\text{関連領域総売上(走行安全)}}$$

※1 Advanced Driver-Assistance Systems (先進運転支援システム)

KPI	2021年度目標	2021年度実績	2022年度目標	2030年度目標
CO <sub>2</sub> 削減に寄与する電動化商品 (Electric) 売上収益 (比率)	14%	13%	20%	<b>50%以上</b>
安全な移動に貢献する商品 (Autonomous) 売上収益 (比率)	34%	39%	35%	<b>50%以上</b>
クリーンエネルギー関連商品のCO <sub>2</sub> 削減貢献量	685千t-CO <sub>2</sub> /年	690千t-CO <sub>2</sub> /年	730千t-CO <sub>2</sub> /年	<b>2,300千t-CO<sub>2</sub>/年</b>
健康・福祉に資する新たな商品・サービスの社会実装件数	8件	8件	10件	<b>20件</b>
研究開発費比率	4.8%	5%	4.8%	<b>6.0%</b>
CASEおよび先端技術向け開発費比率	48%	49%	51%	<b>70%</b>
ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量削減率	Scope3のグローバルでの実績把握とルール作成、および削減目標の設定	Scope3のグローバルでの実績把握と削減目標の設定完了 ※ルール作成に関しては継続して活動中	(国際ルールに準じた)算出ガイドラインの作成	<b>▲25%以上</b> [2019年度比*4]
生産CO <sub>2</sub> 排出量削減率 (総量) [2013年度比]	<b>▲6.8%以上</b> (258.5万t-CO <sub>2</sub> /年)*3	<b>▲7.5%以上</b> (256.5万t-CO <sub>2</sub> /年)*3	<b>▲12%以上</b> (244.2万t-CO <sub>2</sub> /年)	<b>▲50%以上</b> (138.6万t-CO <sub>2</sub> /年)*5
重大災害件数	0件	0件	0件	<b>0件</b>
休業度数率	0.05	0.14	0.05	<b>0.05</b>
女性管理職比率 グループ4社*2	2.45%	2.48%	2.8%	<b>6.0%</b>
働きがい(社員意識調査結果より) グループ4社*2	3.5ポイント (グループ4社)	3.4ポイント (グループ4社)	3.5ポイント (グループ4社)	<b>4.0ポイント</b> (グループ全体)
重大法令違反件数	0件	0件	0件	<b>0件</b>
グループ・グローバル共通でのサプライヤー向けガイドライン策定・展開によるガイドライン遵守率	ガイドライン策定、展開	仕入先サステナビリティガイドライン発行・国内サプライヤーへの展開	・カーボンニュートラル目標値設定、展開 ・ガイドライン/海外展開	<b>100%</b>

※2 今後、対象企業を拡大予定。

※3 「第7次アイシン連結環境取組プラン」での係数を用いたCO<sub>2</sub>排出量。

※4 SBTの目標設定に合わせ、基準年の見直しを実施。

※5 「第7次アイシン連結環境取組プラン」での係数での算出により、数値の見直しを実施。